

# オムニチャネル対応 新センター稼働

## 東北ドライの 物流拠点

# 共同購入と店舗の物流を統合

# 生協 ロジスティクス縦断

No.53



東北6県10会員生協のドライ品の物流拠点「CTDC」

## ドライ統合物流センター

## コープ東北サネット事業連合

4つの物流センターを1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

コープ東北サネット事業連合の新物流拠点「コープ東北統一ドライ物流センター」(宮城県川部宮町)が先々完成し、9月に先稼働した。業務全般を丸和運輸機関が受託し、2016年6月に本格稼働する。新センターは、コープ東北各生協の共同購入54支部、168万人の組合員への供給と108店舗への配送を担うドライ商品の複合拠点、無線表示機一体集約システムをはじめ、リライタブルレーザーシステム、RFIDの個体管理によるオ리콘の紛失や滞留防止など、最新のICT(情報通信技術)を導入した。また、自動化・機械化を図り、労働力不足問題に対し省人化を推進。さらに店舗共同購入の物流統合により、近い将来、事業連携やネットショッピングなど生協版オムニチャネルを具現化する次世代物流センターとしても注目されている。生協物流として新機軸を打ち出した「コープ東北統一ドライ物流センター」をクローズアップした。



高頻度商品を無線表示機一体型のデジタルピッキング「e-yenav」で集品する



度商品を「シャングルカート」で集品する

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

物流を統合し、会員生協の54支部、108店舗に供給する。稼働は今年9月に共同購入の一部で先行し、来年2月に店舗物流が稼働6月に全面稼働する。

コープ東北サネット事業連合の2014年度の供給高は996億7千万円(会員生協合計2333億9千万円)。うちドライ食品、生活関連商品の取り扱いが7割を占める。センター出荷高は年間520億円。1日の配送物量は店舗ドライセンターでカイト2千台、共同購入ドライセンターでドリ12千台、カゴ車6百台、運行車両百台、センターの従業員数は約6百人。



リライタブルレーザーシステム



3万6千ケースを格納する立体自動倉庫



クレオ社製のオ리콘洗浄機

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ



丸和運輸機関の和佐見勝社長(左)、コープ東北サネット事業連合の河野敏彦常務理事

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

計画を推進し、今年5月に1年かけて、コープ東北統一ドライ物センター(以下、CTDC)を完成させた。CTDCは、共同購入と店舗の物流を統合し、生協のドライ品の物流拠点、建物50億円を牛嶋、マテハ

CTDCのコンセプト「HAPPY & THANKS」センター玄関口「このリーフを掲げている

ない商品を店に配送することや、店にある商品を共同購入の宅配に載せることも可能になる。事業間を連携するフレキシブルさが特徴の「シナジー効果を出し、品質を上げていかな」と次の勝負はできない。ネット対応型の新しい機軸もそこで実現したい。共同購入のカタログに載っていない商品も、JANコードがなければインターネットで注文して届けることもできる。

「お客様第一主義」実践低コスト、高品質を徹底することが、次につながる。ちなみにCTDCには全国から20代の精鋭社員を集め、配置した。この新しいコンセプトのセンターの運営を進めていく中で、若い人の発想、エネルギーを存分に発揮してもら

「お客様第一主義」実践低コスト、高品質を徹底することが、次につながる。ちなみにCTDCには全国から20代の精鋭社員を集め、配置した。この新しいコンセプトのセンターの運営を進めていく中で、若い人の発想、エネルギーを存分に発揮してもら

丸和運輸機関 和佐見勝社長

CTDCの運営受託 河野敏彦常務理事